

萩裕美子先生の追悼記

本学会理事であられた萩裕美子先生（東海大学）は令和5年4月19日にご逝去されました。享年64歳の若さでした。「定年退職まで頑張りたい」とうかがっていたさなかでした。令和5年9月30日には東海大学湘南キャンパスにて盛大な「萩先生を偲ぶ会」がありました。萩先生が教鞭をとった東京YMCA社会体育専門学校（現社会体育保育専門学校）、鹿屋体育大学、東海大学、学会関係者、同級生、国や地方自治体関係者など多くの縁のあった方々が集い、先生の生前のご功績やお人柄を偲びました。

ここに日本体育測定評価学会で萩先生と親交があった本学会関係者の追悼文をまとめました。生前の萩先生の活躍のご様子を思い浮かべていただき、ご冥福をお祈りしたいと思います。（文責 太田あや子）



日本体育測定評価学会 会長 村瀬智彦

萩裕美子先生には、2009年から2023年までの7期14年間にわたり本学会の理事として多大なご貢献をいただきました。同時期に理事に就任した若輩の私にも初対面の時から年齢に関係なく率直なご意見やご助言をいただきましたことを今でも鮮明に記憶しております。2023年の学会大会長を務められた会場では学会賞を受賞され体育測定評価研究の発展に大きく寄与されました。今期の役員選出の際には、ご助言やご指導をいただける役職へのご就任をお願いしましたところ「来期に体調が良くなったら」とご回答をいただいております。再びご助言やご指導を受けることができないこと大変残念でなりません。長きにわたる学会運営と研究領域におけるご貢献に感謝申し上げます。心よりご冥福をお祈りいたします。

東京学芸大学名誉教授 波多野義郎

萩先生の初職の学校である「東京YMCA社会体育専門学校」が当時教員を探していると聞いて探していたところ、3月に学芸大学の卒業を控えた萩先生に白羽の矢が立ちました。開学間もない新しい専門学校でしたが、萩先生は迷いなく新しいこの学校に教員として着任しました。専門学校ではクラス担任や健康系の授業、スキー、ヨットやカヌーなどのウォーターアクティビティなど、YMCAが力を入れているアウトドア活動の指導にあたりました。その間、女子栄養大学に学士入学して栄養の勉強を続ける努力家でもありました。その後、鹿屋体育大学ではお子さんを育てるワーキングマザーの先駆けとして学生の指導にあたりながら博士号を取得、東海大学に着任して博士課程の設置にご尽力されました。プライベートでは妻とともに三社祭りに招待いただき、ねじりはちまき姿の萩先生と祭りを楽しみ、萩先生のご主人に一升瓶をお土産に頂戴して上野のアメ横でリュックを買って家に持ち帰ったことをよく覚えています。良い意味で少し変わった学生であり、頑張り屋の先生でした。まだまだやりたいことがたくさんあったことと思うと大変残念です。ご冥福をお祈りいたします。

愛媛大学社会共創学部 山本 直史

私は、2003年の3年次より鹿屋体育大学の萩ゼミに所属し、それ以降、約20年にわたって萩先生にご指導をいただきました。週1回の弁当ランチ、合宿、スポーツ大会、そして先生のご自宅のクリスマスパーティなど、ゼミ活動以外でも私たち学生と接する時間を積極的に設けてくださいました。大学院生の頃は、市町村や健保組合などと協働した先生の健康づくり活動のお手伝いをさせていただき、関わった全ての方々が聡明な萩先生のファンになっていく様子を間近で拝見しました。大学教員となった今でも、先生から「頑張っていますね」と優しく褒めていただけることが、研究・教育活動の大きなモチベーションの一つとなっていました。

先生は常に私たちの先を走り続け、そして、灯台のように進むべき方向を照らしてくださいました。

「体育学の研究者とは何か考えなさい」「現場を見て研究をきなさい」

先生からいただいた大切な課題の答えを導き出せるように、日々、精進していく所存です。本当にありがとうございました。

順天堂大学 涌井佐和子

萩裕美子先生に初めてお会いしたのは平成6年に在外研究で東京学芸大学にいらしていた時でした。当時私は東京学芸大学の大学院2年生で、東京YMCA社会体育専門学校非常勤講師2年目。研究テーマを「ウエイトコントロール」としていたことから、栄養教育の領域でたくさんご指導いただきました。その後私は北海道の大学に着任しましたが、その間も折り目折り目に浅草でお目にかかる機会があり、鹿屋体育大学での地域の実践活動、スキー・卓球、三社祭のことなど様々なお話を伺っていました。初めて築地でお寿司を食べたこと、東日本大震災直後に都内で不足している物資の調達をご一緒したこと、マニアックなプラモデル屋さんを訪問して、珍しい品番の商品を発見したこと、ばら大使をされていた鹿屋バラ園を訪問したこと、などご一緒した多くの出来事を思い出します。本当に広い領域での健康づくりの実践・普及・研究と人材育成に最後まで尽力され、たくさんの方を助けてくださいました。長い間本当にありがとうございました。

武蔵丘短期大学 太田あや子

颯爽とシュプールを描いて滑る萩先生の後ろをトレーンで必死について行ってスキーが上達した私です。東京学芸大学では同じクラスで高等学校の保健体育教員をめざす仲間でした。「三社祭命」の江戸っ子で、祭りまでは髪をまとめるために髪を伸ばし、終わると短くしたり、雪駄で大学に来たりしたこともありました。3年次になり、教育実習では仲間を代表して研究授業を担当し、学問領域所属では保健学を専攻して小学校における脊柱・胸郭異常の実態とその要因に関するテーマで卒業論文に取り組みました。東京YMCA社会体育専門学校では学生に頼りにされるお姉さん先生として活躍。鹿屋体育大学在任中は、私も幼児の栄養に関する調査研究に共に取り組む機会を得て、国際学会に発表することができました。鹿児島の中でも皆に愛され頼りにされる先生でした。東海大学では女性の先生方のリーダーとして大学の保健体育の授業に関する研究をまとめています。博士号の取得をめざして研究活動をしている鹿屋体育大学時代にその理由を尋ねた時に「取得して、大学に恩返しをしたい」と真剣なまなざしで語っていたことが印象に残っています。萩先生が代表をつとめ、大学教員を務める同級生数人で編集した小学生の読み物、玉川大学出版「頭と体のスポーツ」を2年がかりで完成させたのが一緒にした最後の仕事になりました。思い出されるのは常に笑顔の萩先生です。その人柄と研究での頑張りを忘れず心にとめおきたいと思います。たくさんのお仕事と楽しい実りある時間をありがとうございました。

萩先生略歴

1958年 東京都 浅草 生まれ

【学歴】

1981年3月 東京学芸大学 教育学部 卒業

1987年3月 女子栄養大学 栄養学部 卒業

(女子栄養大学 博士(保健学))

【職歴】

1981年4月 - 東京YMCA社会体育専門学校

1991年4月 - 鹿屋体育大学 体育学部

2009年4月 - 東海大学 体育学部

2017年4月 - 東海大学大学院 体育学研究科 (研究科長)